

## 第2 教育研究団体の意見・評価

### ○ 全国公民科・社会科教育研究会

(代表者 山本 勇 会員数 約1,000人)

T E L 03-3737-1331

#### 1 前文

第1問と第4問は「公共、政治・経済」及び「公共、倫理」と共通問題であり、大問数や設問数等は例年通りとなった。「公共」の出題内容は極めて平易であり、学習指導要領の基本的な考え方を十分意識して出題されている。高等教育において学ぶ基礎基本が身に付いているかどうかを確認し、基礎的基本的な確かな知識に基づき、広い視野から思考力判断力が備わっているかを問う出題となっている。

以下、具体的に各問について意見と評価を申し述べる。

#### 2 試験問題の程度・設問数・配点・形式等への評価

【第1問】、【第4問】については、「公共、政治・経済」の評価と共通のものとする。

##### 【第2問】

###### 〔問1〕

メモに書かれた抽象的な内容の記述に該当する具体例を選ぶ問題で、「頼れそうなものや権威のありそうなものに追随する」ものを具体化したものを選択する問題。もう少し選択肢の中に政治・経済の専門用語が入っていると、読解力だけでなく知識と組み合わせることになると考える。

###### 〔問2〕

ボルダールールを採用した仮想の選挙結果を考察する問題。実際に計算してみないと解けないのでルールの特徴を実感できる意味では良問である。ボルダールールは扱っている教科書や副教材も多いが、仮に知らなくても説明文を読み、手順通りに計算すると答えが出る。

###### 〔問3〕

「政策起業家」をテーマとした会話文から穴埋めを行う問題。正答のロビイング、アカウンタビリティになじみがなくても誤答の国政調査権や連座制が当てはまらないことから正答に導くことができる。標準レベルの問題であり、「政策起業家」が分からなくても会話文を読むことで文脈から判断できる。ただし、選択肢の誤答の内容がロビイングに対して国政調査権、アカウンタビリティに対して連座制と、内容面では類似する面もあるが、誤答といえども正答から離れすぎている点が気になる点である。

###### 〔問4〕

問1とは反対に、具体的な制度からその背景にある抽象的な意図を読み取る問題である。選択肢が対照的であるため、制度の意図が理解できれば難なく正答にたどり着くことができるものとする。最後の空欄については、直接請求と法定受託事務という地方自治でのつながりがある内容ではあるものの、問3同様に正答と誤答の距離が遠い点に改善を求めたい。

### 【第3問】

<大問全体講評>

〔問1〕

子どもの権利と、日本国憲法での国会と内閣の規定に関する問題である。空欄アは基本的な内容ではあるが、誤りやすい内容である。

〔問2〕

刑事手続きの正誤問題である。令状を発するのが裁判所なのでイが正解となる。他の問題と比べると若干細かい気もするが、捜査したり起訴したりする検察が逮捕状を発するというのは基本的人権を守るという観点では不自然なので、そこで気が付くことができるのかを問うている点では評価できる選択肢である。

〔問3〕

事例を見ての生徒同士の会話の空欄を埋める問題で標準レベルだが、正答の語句の難度に対して誤答の語句があまりにも分かりやす過ぎるのではないか。誤答の語句を労働委員会などにするともう少し悩むのではないか。アの選択肢が、これでよいのかという内容である。ただ、事例の末尾に法定代理人が出てくるせいで少し惑わされるかもしれない。イも簡単である。ウがやや難しめと言っても、人事院が何か分かっていたらすぐに答えられる。

〔問4〕

権利保障に関する生徒の会話文の空欄を語句で埋めるものである。現代的な感覚でも解けてしまう。これも誤答があまりにもかけ離れているので、正答の語句を知らなくても誤答語句を排除できてしまうのではないだろうか。「バリアフリー」とか「アフターマティブアクション」などを誤答語句にできないだろうか。

### 3 総評・まとめ

出題内容は標準的なものが多く、基礎的・基本的な学力を問うものとなっている。具体から抽象を問うたり、その逆を問うなど、知識を活用した問題の出題も見られる。一方で、上記でも何度か指摘したように正答と誤答の内容が離れすぎている問題が見受けられる。正答だけでなく、誤答を出した意図が明確になるような選択肢を期待したい。

### 4 今後の共通テストへの要望

「公共（独自問題）」として第2問、第3問があるが、「公共（独自問題）」の色が出ているのかと言われると、判断が難しい。「公共」の特色を生かした出題形式や内容とするべきではないかと考える。大項目A、Bそれぞれの知識部分を問うたり、大項目Aで身に付けた社会的な見方・考え方を活用した問題を出題したりする等のが考えられる。もしくは、大項目Cで行うような探究活動を舞台とした設問も考えられる。平均点の問題等、様々な制約はあるであろうが、全国の高校生全員が必修となる「公共」だからこそ、「公共らしさ」を感じられる問題構成を期待したい。